

八重山の御嶽信仰習俗関係文献目録

波照間 永吉

凡 例

1. 本目録は、八重山の御嶽信仰習俗関係の古記録、単行本、報告書、雑誌論文についてまとめたものである。
2. 「御嶽信仰習俗関係」としたが、個々の文献を厳密に分類することは不可能にちかい。したがって、本稿では、社会組織、通過儀礼、年中行事、信仰、芸能、口承文芸、民俗誌の分野にわたる文献を抽出することとした。なお、八重山地域に限定されない文献も若干収録したが、これは、八重山の御嶽と他地域の御嶽との比較を考える上で重要と思われるものに限った。
3. 目録は、(1)古記録の部、(2)単行本の部、(3)報告書・雑誌特集号の部、(4)雑誌論文の4部で構成されている。
4. 上記の各部とも掲載は年代順に従って配列した。同年代では月順に配列し、刊行月日の不明なものは当該年の末尾に掲げた。
5. 「古記録の部」の文献名欄中の→は翻刻収載の文献を示す。
6. 本目録は、主に下記の目録類を参照して作成した。
 - ①『沖縄県郷土資料総合目録』(沖縄図書館協会編 新星図書発行 昭和48年3月)
 - ②『沖縄関係雑誌記事索引(人文・社会篇)』(琉球大学附属図書館編集発行 1974年11月)
 - ③『文化系文献目録 XXV(沖縄に関する人文・社会科学の文献資料目録)』(田港朝昭・比嘉政夫編 日本学術会議第1部発行 1980年1月)
 - ④『琉球大学沖縄関係資料目録 増加版』(琉球大学附属図書館編集発行 1980年3月)
 - ⑤『日本民俗学文献総目録』(日本民俗学会編 弘文堂 1980年5月)
 - ⑥『与那国島関係文献目録』(安溪遊地)、『南島の稲作文化』法政大学出版局 1984年6月)

八重山の御嶽信仰習俗関係文献目録

波照間 永 吉

凡 例

1. 本目録は、八重山の御嶽信仰習俗関係の古記録、単行本、報告書、雑誌論文についてまとめたものである。
2. 「御嶽信仰習俗関係」としたが、個々の文献を厳密に分類することは不可能にちかい。したがって、本稿では、社会組織、通過儀礼、年中行事、信仰、芸能、口承文芸、民俗誌の分野にわたる文献を摘出することとした。なお、八重山地域に限定されない文献も若干収録したが、これは、八重山の御嶽と他地域の御嶽との比較を考える上で重要と思われるものに限った。
3. 目録は、(1)古記録の部、(2)単行本の部、(3)報告書・雑誌特集号の部、(4)雑誌論文の4部で構成されている。
4. 上記の各部とも掲載は年代順に従って配列した。同年代では月順に配列し、刊行月日の不明なものは当該年の末尾に掲げた。
5. 「古記録の部」の文献名欄中の→は翻刻収載の文献を示す。
6. 本目録は、主に下記の目録類を参照して作成した。
 - ①『沖縄県郷土資料総合目録』（沖縄図書館協会編 新星図書発行 昭和48年3月）
 - ②『沖縄関係雑誌記事索引（人文・社会篇）』（琉球大学附属図書館編集発行 1974年11月）
 - ③『文化系文献目録 XXV（沖縄に関する人文・社会科学の文献資料目録）』（田港朝昭・比嘉政夫編 日本学術会議第1部発行 1980年1月）
 - ④『琉球大学沖縄関係資料目録 増加版』（琉球大学附属図書館編集発行 1980年3月）
 - ⑤『日本民俗学文献総目録』（日本民俗学会編 弘文堂 1980年5月）
 - ⑥『与那国島関係文献目録』（安溪遊地）（『南島の稲作文化』法政大学出版局 1984年6月）

- ⑦『法政大学沖縄文化研究所所報』1号～23号（法政大学沖縄文化研究所発行 1984年7月現在）
 - ⑧『八重山関係文献目録（昭和58年12月末現在）』（石垣市役所・市史編集室編集・発行 1985年3月）
 - ⑨「沖縄歴史関係主要論文目録」（『沖縄史料編集所紀要』8～12号 1983年～1987年3月）
 - ⑩『沖縄文化論叢2 民俗篇Ⅰ』（大藤時彦・小川徹編 平凡社 1971年）
『沖縄文化論叢3 民俗篇Ⅱ』（馬淵東一・小川徹編 平凡社 1971年）
所収の「文献目録」。その他。
7. 本目録は1986年12月31日までに刊行された文献をとりあげて作成した。
8. 本目録は、「昭和62年文部省科学研究助成奨励研究」の助成を得て行っている「南島祭祀歌謡の基礎的研究」の成果の一部である。

古記録の部

編著者名	書名・発行所名
1705年 (不明)	『御嶽ノ名并由来記』(喜舎場家本)
1706~1713年頃 首里王府	『女官御双紙』→『神道大系』神社篇 沖縄
1713年 首里王府	『琉球国由来記』→『琉球史料叢書』第2巻
1731年 首里王府	『琉球国旧記』→『琉球史料叢書』第3巻
1734~1876年 首里王府	『球陽』→『球陽』(沖縄文化史料集成5)
1745年 首里王府	『遺老説伝』→『球陽外巻遺老説伝』
1771年 八重山島蔵元	『大波之時各村之形行書』→『岩崎卓爾全集』・『八重山の明和大津波』
1834年 波名城□□	『八重山島由来記書写之』(国吉家本)
1883年 脇目差孫益	『八重山島由来記』(竹原家本)
1890年 天久仁屋朝寛	『八重山嶽ノ由来記』(宮良殿内本)
1893年 我那覇孫規	『八重山島由来記』(竹原家本)
成立年不明 (不明)	『八重山島由来記全写』(国吉家本)→『南島』第1輯、(喜舎場家本)
(不明)	『八重山島由来記』(喜舎場家本・国吉家本)

編著者名	書名・発行所名
(不明)	『八重山御嶽由来記』(喜舎場英勝氏蔵本)
(不明)	『八重山嶋大阿母由来記』→『南島』第1輯
(不明)	『八重山島大阿母役目官位由来記』(喜舎場家本)
(不明)	『八重山島大安母役目之事』(安村家本)
(不明)	『八重山島諸記帳』→『南島』第1輯
(不明)	『八重山旧記』(糸洲家本)
(不明)	『慶来慶田城由来記』(八重山博物館蔵)。→『南島』第1輯
(不明)	『由来記』(八重山博物館蔵)
(不明)	『八重山島旧記』(糸数家本)→『八重山文化論集』2
(不明)	『竹富島御嶽由来記』(上勢頭亨氏蔵本)

単行本の部

編著者名	書名・発行所名
1909年 岩崎卓爾	『石垣島案内記』・自家版
1910年 比嘉重徳	『八重山郡誌(全)』・自家版

編 著 者 名	書 名 ・ 発 行 所 名
1915 年 比 嘉 重 徳	『八重山の研究』・大城活版所
1919 年 伊 波 普 猷	『沖縄女性史』・小沢書店
1920 年 岩 崎 卓 爾	『ひるぎの一葉』・浜崎荘市
1924 年 喜舎場 永 珣	『八重山島民謡誌』・郷土研究社 →『日本民俗誌大系 ・沖縄』(角川書店・1974年)
1925 年 本 山 桂 川	『与那国島図誌』・郷土研究社 →『日本民俗誌大系・ 沖縄』(角川書店・1974年)
柳 田 国 男	『海南小記』・大岡山書店 →『定本柳田国男集』第 1 卷(筑摩書房・1968年)
1926 年 宮 良 当 壮	『採訪南島語彙稿』・郷土研究社 →『宮良当壮全集』 第 7 卷(第一書房・1980年)
1928 年 宮良当壮・宮良長包	『八重山古謡 第一輯』・郷土研究社 →『宮良当壮全 集』第 11 卷(第一書房・1980年)
1930 年 宮良当壮・宮良長包	『八重山古謡 第二輯』・郷土研究社 →『宮良当壮全 集』第 11 卷(第一書房・1980年)
宮 良 当 壮	『八重山語彙』・東洋文庫 →『宮良当壮全集』第 8・ 9 卷(第一書房・1981, 1982年)
1934 年 宮 良 当 壮	『南島叢考』・一誠社 →『宮良当壮全集』第 13 卷(第 一書房・1981年)

編 著 者 名	書 名 ・ 発 行 所 名
1939年 川 村 只 雄	『南方文化の探求』・創元社
1940年 伊波普猷・東恩納 寛惇・横山重	『琉球史料叢書』(全5巻)・名取書店
柳 田 国 男	『妹の力』・創元社 → 『定本柳田国男集』第9巻(筑 摩書房・1969年)
1944年 鳥 越 憲三郎	『琉球古代社会の研究—政治と宗教—』・三笠書房
須 藤 利 一	『南島覚書』・東都書籍株式会社
1947年 柳 田 国 男	『沖縄文化叢説』・中央公論社
池間栄三・新里和盛	『与那国島誌』・自家版
1950年 東恩納 寛 惇	『南島風土記』・沖縄文化協会 → 『東恩納寛惇全集』 第5巻(第一書房・1978年)
川 平 部 落 会	『八重山川平村郷土史』・川平部落会
1954年 喜舎場永珣著 八重 山歴史編集委員会	『八重山歴史』
1960年 滝 口 宏	『沖縄八重山』・校倉書房
1961年 柳 田 国 男	『海上の道』・筑摩書房 → 『定本柳田国男集』(筑摩 書房・1968年)
1962年 本 田 安 次	『南島探訪記』・明善堂書店

編 著 者 名	書 名 ・ 発 行 所 名
1963年 伊 藤 幹 治	『稲作儀礼の類型的研究』・国学院大学日本文化研究所 →『稲作儀礼の研究』（而立書房・1974年）
1966年 小浜島民俗芸能 保存会	『うふたき』・自家版
1967年 喜舎場 永 珣	『八重山民謡誌』・沖縄タイムス社
1968年 仲 松 弥 秀 黒島民俗芸能保存会	『神と村—沖縄の村落—』・琉球大学沖縄文化研究所 『黒島民謡集』・自家版
1969年 中 山 盛 茂	『琉球史辞典』・琉球文教図書
1970年 喜舎場 永 珣 知 念 政 範	『八重山古謡』（上・下）・沖縄タイムス社 『黒島史』・玻座真武（自家版）
1971年 大 浜 信 賢 山城善三・上勢 頭亨	『八重山の人頭税』・三一書房 『竹富島誌』・八重山郡竹富町字竹富公民館
1972年 沖縄県史料編集所 崎 山 毅 宮 良 高 弘 真栄田義見・三隅 治雄・源武雄	『沖縄県史』22巻民俗1・沖縄県教育委員会 『螻蛄の斧—竹富島の真髓を求めて—』・錦友堂写植 『波照間島民俗誌』・木耳社 『沖縄文化史辞典』・東京堂出版

編 著 者 名	書 名 ・ 発 行 所 名
牧 野 清	『新八重山歴史』・自家版
山 城 浩	『小浜島誌』・小浜島郷友
池 間 栄 三	『与那国の歴史』・琉球新報社
宮 城 文	『八重山生活誌』・自家版
山城善三・上勢 頭亨	『おきなわのふるさと竹富島』・八重山郡竹富町字竹富 公民館
1973 年	
沖縄史料編集所	『沖縄県史』23 巻民俗 2・沖縄県教育委員会
瀬名波 長 宣	『八重山小話』・沖縄春秋社
宮 良 高 弘	『八重山の社会と文化』・木耳社
本 田 安 次	『日本の民俗芸能 5—離島・雑纂—』・木耳社
桜 井 徳太郎	『沖縄のシャマニズム』・弘文堂
1974 年	
新城敏男・浦崎 浩行	『八重山嶋資料集 第1集』・自家版
竹富町誌編集委 員会	『竹富町誌』・竹富町役場
W・P・リーブラ	『沖縄の宗教と社会構造』・弘文堂
岩 崎 卓 爾	『岩崎卓爾一卷全集』・伝統と現代社
大 真太郎	『竹富島の土俗』・日本ジャーナリズム出版社

編著者名	書名・発行所名
那根 亨	『西表島の伝説』・自家版
伊藤 幹治 1975年	『稲作儀礼の研究』・而立書房
沖縄県史料編集所	『沖縄県史』5巻文化1・沖縄県教育委員会
沖縄県史料編集所	『沖縄県史』6巻文化2・沖縄県教育委員会
喜舎場 永 珣	『八重山歴史 新訂増補』・国書刊行会
牧野 清	『登野城村の歴史と民俗』・自家版
村武 精一	『神・共同体・豊穰—沖縄民俗論—』・未来社
仲松 弥秀	『神と村』・伝統と現代社
宮良 泰平	『八重山方言の素姓』・自家版
上間貞俊・小底致市	『バガンマホーマヌ歴史』・自家版
小浜島民謡集編集委員会	『小浜島民謡集』・自家版
竹富島民俗芸能保存会	『竹富島種子取祭』・竹富島民俗芸能保存会
1976年 玉城 憲文	『竹富島仲筋村の芸能』・オリジナル企画
川平村の歴史編集委員会	『川平村の歴史』・川平公民館
上勢頭 亨	『竹富島誌—民話・民俗篇—』・法政大学出版局

編著者名	書名・発行所名
八重山文化研究会	『八重山文化論集』第1号・八重山文化研究会
大浜老人クラブ 長寿会	『大浜村民俗誌』・自家版
安里武信 1977年	『 ^{パナリ} 新城島』・自家版
喜舎場永珣	『八重山民俗誌』(上・下)・沖縄タイムス社
上間貞俊・小底致市 山崎御嶽沿革誌 編集委員会	『八重山大浜村の郷土誌』・自家版 『宮良村山崎御嶽』・自家版
仲松弥秀	『古層の村』・沖縄タイムス社
クライナー・ヨー ゼフ・住谷一彦	『南西諸島の神観念』・未来社
竹富島民俗芸能 保存会 1978年	『竹富島種子取祭国立劇場公演記念誌』・竹富公民館
新川明	『新南島風土記』・大和書房
加屋本正一	『波照間島』・自家版
太平洋資源開発 研究所	『八重山小百科—石垣島—』・新星図書
竹原孫恭 1979年	『ばがー島・八重山の民話』・大同デザインセンター
渡辺欣雄・植松 明石	『与那国の文化—沖縄最西端与那国における伝統文化と 外来文化：周辺諸文化との比較研究』・新座 与那国研 究会
池浩三	『祭儀の空間—その民俗現象の諸相と原型—』・相模書 房

編 著 者 名	書 名 ・ 発 行 所 名
宮 良 賢 貞	『八重山芸能と民俗』・根元書房
外間守善・宮良 安彦	『南島歌謡大成Ⅳ・八重山篇』・角川書店
上勢頭 亨	『竹富島誌一歌謡・芸能篇一』・法政大学出版局
宮 良 泰 平	『続 八重山方言の素姓』・自家版
宮良村古謡保存会	『宮良村古謡誌』・自家版
八重山教育事務所	『八重山歴史』(昭和54年度八重山地区成人大学講座ノ ート)
崎 枝 公 民 館	『崎枝の歩み』(崎枝部落創立30周年記念誌)・崎枝公 民館
竹富町西表民俗 芸能保存会	『西表島祖納・星立の節祭の芸能』・自家版
1980年	
八重山文化研究会	『八重山文化論集』第2号・八重山文化研究会
星 勲	『西表島のむかし話』・ひるぎ社
伊 藤 幹 治	『沖縄の宗教人類学』・弘文堂
1981年	
星 勲	『西表島の民俗』・友古堂書店
竹富町古謡編集 委員会	『竹富町古謡集』(第1集)・竹富町教育委員会
前 花 哲 雄	『神・神格偉人物語り』・八重印刷出版

編 著 者 名	書 名 ・ 発 行 所 名
吉本政吉・吉本初枝	『いつまでも残したい与那国（どなん）のことば』・自家版
湧上元雄・比嘉康雄	『日本の聖域 7 沖縄の聖なる島々』・佼正出版
三 隅 治 雄	『日本の祭り 8 九州・沖縄』・講談社
1982 年 大浜村農村生活誌編纂委員	『大浜農村生活誌』・大浜農村生活誌編纂委員
星 勲	『西表島の村落と方言』・友古堂書店
比 嘉 政 夫	『沖縄民俗学の方法』・新泉社
笹森儀助著・東喜望校注	『南嶋探険』（1・2）・平凡社
1983 年 石垣市立八重山博物館	『八重山の民俗芸能—八重山民俗芸能写真展—』・石垣市立八重山博物館
仲宗根 幸 一	『琉球の昔物語』・海邦出版社
福田晃・岩瀬博 他	『八重山諸島与那国島の昔話』（南島昔話叢書 10）・同朋舎出版
稲田浩二・小澤俊夫	『日本昔話通巻 第 26 巻 沖縄』・同朋社出版
宮城栄昌・高宮廣衛	『沖縄歴史地図』・柏書房
沖縄大百科事典刊行事務局	『沖縄大百科事典』・沖縄タイムス社

編著者名	書名・発行所名
15周年記念誌編集委員会	『沖縄在鳩間郷友会十五周年記念誌—鳩間島誌』・沖縄在鳩間郷友会
丸山 顕 徳	『沖縄の民話と他界観』・海鳴社
1984年	
村 武 精 一	『祭祀空間の構造—社会人類学ノート—』・東京大学出版会
谷川健一・山下欣一・荒木一博・波平恵美子	『南島のフォークロア』（共同討議）・青土社
本 庄 正 佳	『竹富島古謡誌—古代文化の源流を訪ねて—』・竹富島古謡研究会
福田晃・岩瀬博 他	『八重山諸島竹富島・小浜島の昔話』（南島昔話叢書9） ・同朋舎出版
渡部忠世・生田 滋	『南島の稲作文化—与那国島を中心に—』・法政大学出版局
喜舎場 一 隆	『南島地域史研究』（文献出版）
1985年	
石垣字会古謡編集委員会	『石垣村古謡集』第1集・石垣字会
東京竹富郷友会	『たけとみ—創立60周年記念誌—』・東京竹富郷友会
1986年	
外 間 守 善	『沖縄の歴史と文化』・中央公論社
『角川日本地名大辞典』編纂委員会	『角川日本地名大辞典 沖縄県』・角川書店

報告書・雑誌特集号の部

編者・監修者名	書名・発行所名他
1940年 野田裕康	『南島』第1輯・南島発行所 東京八重山文化研究会復刻(1976年)
1963年 大阪市大八重山 群島学術調査隊	『八重山群島学術調査報告 1961』・大阪市大八重山群島調査隊
1965年 琉球大学民俗研 究クラブ	『沖縄民俗』10号—八重山郡竹富町調査報告—・琉球大学民俗研究クラブ
1966年 沖縄学生文化協 会	『郷土』3号—黒島・波照間島調査報告—・沖縄大学沖縄学生文化協会
1968年 早稲田大学アジア 学会第6次八重山 文化社会学調査隊	『小浜島実地調査報告書』・早稲田大学アジア学会
1969年 琉球大学民俗研 究クラブ	『沖縄民俗』16号—八重山郡竹富町字西表祖納部落調査報告—・琉球大学民俗研究クラブ
早稲田大学アジ ア学会第7次八 重山調査隊	『八重山調査報告書—川平・古見—』・早稲田大学アジア学会
1970年 琉球政府文化財 保護委員会 沖縄学生文化協 会	『沖縄の民俗資料 第1集』・琉球政府 『郷土』8号—座間味島・西表島調査報告—沖縄大学沖縄学生文化協会

編者・監修者名	書名・発行所名他
1971年	
沖縄学生文化協会	『郷土』10号—国頭村比地部落・与那国調査報告—・沖縄大学沖縄学生文化協会
沖縄文化協会	『沖縄文化』36・37号—八重山特集号—沖縄文化協会
沖縄高等学校郷土研究クラブ	『土』2号—久米島仲地・八重山宮良調査報告—・沖縄高等学校郷土研究クラブ
石垣市文化財調査委員会	『八重山の文化財』第1集・石垣市
琉球大学地理研究クラブ	『琉大地理』10号—小浜島調査報告—・琉大地理研究クラブ
早稲田大学アジア学会第9次沖縄八重山調査隊	『比川部落報告書』・早稲田大学アジア学会
早稲田大学アジア学会第10次沖縄八重山調査隊	『与那国島調査報告書』・早稲田大学アジア学会
名古屋・国際アートコンパニオン	『まつり』17号—特集沖縄のまつりⅡ—・まつり同好会
1973年	
早稲田大学アジア学会第11次沖縄八重山調査隊	『八重山報告書』—西表島祖納・1972.7~1972.9・早稲田大学アジア学会
パイヌスマ「南島」編集委員会	『南島（パイヌスマ）』・自家版
大胡欽一・宮良高弘	『現代のエスプリ』72号—沖縄の伝統文化—・至文堂
1974年	
東京八重山文化研究会	『八重山文化』創刊号・東京八重山文化研究会

編者・監修者名	書名・発行所名他
東京八重山文化研究会	『八重山文化』2号・東京八重山文化研究会
沖縄県教育庁文化課	『沖縄の民俗資料』第1集・根元書房
石垣市教育委員会	『八重山の文化財』第2集・石垣市教育委員会
沖縄学生文化協会	『郷土』13号—八重山小浜島調査報告—・沖縄大学沖縄学生文化協会
1975年	
東京八重山文化研究会	『八重山文化』3号・東京八重山文化研究会
1976年	
沖縄県教育庁文化課	『八重山石垣島平得仲本御嶽遺跡発掘調査報告書』・沖縄県教育委員会
東京八重山文化研究会	『八重山文化』4号・東京八重山文化研究会
1977年	
沖縄県教育委員会	『沖縄県民俗分布図—民俗文化財緊急調査報告書—』・沖縄県教育委員会
東京八重山文化研究会	『八重山文化』5号・東京八重山文化研究会
琉球大学社会人類学研究会	『白保—八重山白保村落調査報告—』・根元書房
琉球大学民俗研究クラブ	『沖縄民俗』23号—八重山石垣市宮良・中城村伊集報告—・琉球大学民俗研究クラブ
駒場学園高等学校	『島の人々とその生活—西表島への調査旅行—』・人間の科学社

編者・監修者名	書名・発行所名他
1978年	
与那国町文化財調査委員会	『与那国島の民話集』・与那国町教育委員会
与那国町文化財調査委員会	『与那国島の無形文化財』・与那国町教育委員会
東京八重山文化研究会	『八重山文化』6号・東京八重山文化研究会
琉球大学地理研究クラブ	『琉大地理』12号—渡名喜・黒島—・琉球大学地理研究クラブ
1979年	
沖縄県教育庁文化課	『八重山の民俗芸能』(1)・沖縄県教育委員会
東京八重山文化研究会	『八重山文化』7号・東京八重山文化研究会
与那国町文化財調査委員会	『与那国町の文化財』・与那国町教育委員会
1980年	
沖縄県教育庁文化課	『八重山の民俗芸能』(2)・沖縄県教育委員会
琉球大学地理研究クラブ	『琉大地理』14号—波照間島調査報告—・琉球大学地理研究クラブ
1981年	
沖縄国際大学南島文化研究所	『波照間島調査報告書』(地域研究シリーズNo.3)・沖縄国際大学南島文化研究所
沖縄県教育庁文化課	『八重山の民俗芸能』(3)・沖縄県教育委員会
沖縄県教育委員会	『沖縄県社寺・御嶽林調査報告Ⅳ』・沖縄県教育委員会
まつり同好会	『まつり』37号—特集・与那国島—・まつり同好会

編者・監修者名	書名・発行所名他
東京八重山文化研究会	『八重山文化』8号・東京八重山文化研究会
人間博物館リトルワールド	『リトルワールド研究報告』第5巻—沖縄県八重山諸島の民俗—・人間博物館リトルワールド
琉球大学地理研究クラブ	『琉大地理』15号—小浜島調査報告—・琉球大学地理研究クラブ
1982年 ムシャーマ編集委員会	『波照間島のムシャーマ—南国の豊年祈願と祖先供養の祭典—』・波照間民俗芸能保存会
琉球大学地理研究会	『琉大地理』16号—与那国島の村落—・琉球大学地理研究会
1983年 石垣市立八重山博物館	『八重山の民俗芸能—八重山民俗芸能写真展—』・石垣市立八重山博物館
1984年 沖縄県教育庁文化課	『御嶽 御嶽信仰習俗分布調査（Ⅰ）—沖縄本島及び周辺離島—』・沖縄県教育委員会
1985年 沖縄県教育庁文化課	『御嶽 御嶽信仰習俗分布調査（Ⅱ）—宮古諸島および八重山諸島—』・沖縄県教育委員会

雑誌論文の部

著者名	論文名・収録誌名・巻号
1890年7月 田代安定	「沖縄県八重山列島見聞余録」・『東京人類学雑誌』52号

著 者 名	論 文 名 ・ 収 録 誌 名 ・ 卷 号
1894年3月 鳥居龍三	「琉球諸島女子現用ノはけだま及ビ同地方掘出の曲玉」 ・『東京人類学雑誌』96号
田代安定	「八重山群島住民ノ言語及ビ宗教」・『東京人類学雑誌』 96号
1895年 田代安定	・ 「沖縄県八重山諸島婦人首飾珠ノ説」・『東京人類学雜 誌』106号
1899年 黒岩恒	「琉球土俗調査存稿(二)-1 八重山島の神詞及神 伝」・『東京人類学雑誌』156号
1909年2月 田代安定	「西表及与那国紀聞」・『東京人類学雑誌』275号
1920年6月~12月 宮良当壮	「八重山諸島物語」・『東京人類学雑誌』35卷6~12号
1921年1月~12月 宮良当壮	「八重山諸島物語」・『東京人類学雑誌』36卷1~12号
1922年1月~3月 宮良当壮	「八重山諸島物語」・『東京人類学雑誌』37卷1~3号
1923年2・3月 宮良当壮	「八重山人の信仰生活」・『国学院雑誌』29卷2・3号
1926年11月 宮良当壮	「鳩間島記事」・『民族』2卷1号
1927年 国吉真哲	「八重山島雜記」・『沖縄教育』162号
八重山郡教育部会 1929年 折口信夫	「錦芳氏慶来慶田城の由来記」・『沖縄教育』187号 「琉球の宗教」・『古代研究』(民俗学篇)

著 者 名	論 文 名 ・ 収 録 誌 名 ・ 巻 号
折 口 信 夫	「国文学の発生（第三稿）」・『古代研究』（国文学篇）
岩 崎 卓 爾	「新撰八重山月令」・『旅と伝説』 3巻 2号
1931年 5月 日本民族研究会	「八重山の雨乞祭」・『民族史料類纂』 3号
1934年 11月 江 崎 悌 三	『八重山遊記』(1)・ドルメン第3巻 11号
1935年 11月 須 藤 利 一	『八重山雑記—黒島・新城島紀行—』・『旅と伝説』 8巻 11号
江 崎 悌 三	「八重山遊記」(2)(3)(4)・『ドルメン』 4巻 2・3・4号
喜舎場 永 珣	「八重山群島における妊娠・出産・育事に関する民俗」 ・『文部省内愛育会誌』
1936年 和 田 格	「ドナン紀行」・『ドルメン』 5巻 4号
同 7月 宮 良 当 壮	「ミヤ（宮）の原義に関する研究」・『南島論叢』
1940年 3月 比 嘉 政 章	「八重山の民謡と古謡」・『南方民族』 6（102）
須 藤 利 一	「八重山の穂利祭—日記風に—」・『南方民族』 6（102）
1940年 8月 宮 良 賢 貞	「黒島六段帆考」・『南島』 第1輯
宮 良 賢 貞	「小浜島のニロー神」・『南島』 第1輯
喜舎場 永 珣	「爬龍船の神事—黒島—」・『南島』 第1輯
比 嘉 政 章	「西表島の節祭とアングマ踊」・『南島』 第1輯

著 者 名	論 文 名 ・ 収 録 誌 名 ・ 巻 号
1940年11月 内 藤 喬	「西表見聞録」・『鹿児島農林学校校友会報』31号
1942年5月 宮 良 賢 貞	「孤島竹富覚書」・『南島』第2輯
1944年 須 藤 利 一	「八重山の穂利祭」・『南島覚書』
1946年7月 喜舎場 永 珣	「石垣町の豊年祭と真乙姥綱曳(一)」・『八重山文化』1号
1947年9月 瀬名波 長 宣	「プーリ祭の起源に就て」・『八重山文化』13号
同 12月 折 口 信 夫	「女の香炉」・『沖縄文化叢説』
1949年6月 喜舎場 永 珣	「沖縄における爬龍船の由来」・『八重山文化』31号
1952年4月 宮 本 演 彦	「小浜島の穂祭り」・『民間伝承』16巻4号
同 10月 内 盛 直 夫	「竹富島の種子どり」・『民間伝承』16巻10号
1953年 酒 井 卯 作	「南島の世乞い儀礼」・『日本民俗学』1巻2号
1954年9月 酒 井 卯 作	「波照間島調査報告」・『日本民俗学』2巻2号
1955年3月 酒 井 卯 作	「小浜島の農耕儀礼」・『日本民俗学』2巻4号
馬 淵 東 一	「沖縄先島のオナリ神」(1)・『日本民俗学』2巻4号
同 8月 馬 淵 東 一	「沖縄先島のオナリ神」(2)・『日本民俗学』3巻1号
1956年3月 酒 井 卯 作	「南島における収穫儀礼」・『日本民俗学』3巻4号

著 者 名	論 文 名 ・ 収 録 誌 名 ・ 巻 号
酒 井 卯 作	「沖縄八重山郡川平部落調査報告」・『日本民俗学』3 巻4号
折 口 信 夫	「沖縄に存する我が古代信仰の残孽」・『折口信夫全集』 16巻
折 口 信 夫	「沖縄採訪記」・『折口信夫全集』16巻
本 田 安 次	「八重山歌舞の特色」・『芸能復興』11・12号
西角井 正 慶	「はてるま」・『芸能復興』11・12号
1957年 酒 井 卯 作	「波照間のお嶽」・『民間伝承』21巻5号
内 盛 唯 夫	「竹富島の弥勒歌」・『芸能復興』15号
琉球政府文化財 保護委員会	「美崎御嶽」・『文化財要覧』1957年版
1958年 赤 嶺 新 助	「与那国物語—歌と伝説の島を訪ねて—」・『今日の琉 球』2巻5号
源 武 雄	「八重山古見地方における稲作とその信仰行事」・『沖縄 文化財調査報告』、『文化財要覧』1958年版
1958年～1965年 伊 藤 幹 治	「黒島の社会と宗教の構造と変化」・『国学院大学日本文 化研究所紀要』〈沖縄関係記事抜刷3-17号〉
1959年2月 本 田 安 次	「石垣島の穂利祭」・『日本民俗学会報』5号
内盛唯夫・内盛 カツ (談)	「沖縄竹富島の話」(1)・『日本民俗学会報』5号

著 者 名	論 文 名 ・ 収 録 誌 名 ・ 巻 号
1959年3月 内盛唯夫・内盛 カツ（談）	「沖繩竹富島の話」(2)・『日本民俗学会報』6号
1960年2月 葦 間 れ つ	「八重山風土記—西表島の巻—」①・『今日の琉球』4 巻2号
同 3月 葦 間 れ つ	・ 「八重山風土記—西表島の巻—」②・『今日の琉球』4 巻3号
本 田 安 次	「お嶽の神々」・『月刊琉球文学』1巻3号
同 7月 滝 口 宏	「南西諸島を訪ねて」・『沖繩八重山』
本 田 安 次	「八重山の信仰と芸能」・『沖繩八重山』
同 12月 国吉光子・漢那孝子	「石垣市の神人が司る年中行事」・『沖繩民俗』2号
江 守 五 夫	「<琉球八重山群島における社会組織について> 1. 社会 組織に関する報告」・『日本人類学会・日本民族学協会連 合大会記事』14集
宮 良 高 弘	「<琉球八重山群島における社会組織について> 2. 特に 秘密結社について」・『日本人類学会・日本民族学協会連 合大会記事』14集
江 守 五 夫	「琉球八重山群島の社会組織」・『明治大学社会科学 研究年報』1号
岡 本 太 郎	「『何もないこと』の眩暈—琉球文化を求めて八重山ま で」(のちに『沖繩文化論—忘れられた日本』<1972>に 収録)

著 者 名	論 文 名 ・ 収 録 誌 名 ・ 巻 号
吉 田 久 一	「八重山年中行事調査報告（その1）」・『日本社会事業 大学研究紀要』7集
琉球政府文化財 保護委員会	「西塘御嶽」・『文化財要覧』1960年版
1961年6月	
仲 松 弥 秀	「お嶽の本体」・『沖縄文化』2号
同 9月	
保 仙 純 剛	「琉球石垣島の年中行事」・『近畿民俗』28号
桜 井 満	「南島覚書—八重山の穂利祭—」・『武蔵野女子大学紀 要』1号
宮 良 当 壮	「民間信仰に現われた上代人の天つ国・根の国の観念」 ・『武蔵野女子大学紀要』1号
杉本尚次・武岡輝行	「村落構造」・『八重山群島学術調査報告 1961』
武 岡 輝 行	「村落の社会構造」・『八重山群島学術調査報告 1961』
景 守 豊	「年中行事」・『八重山群島学術調査報告 1961』
吉 田 久 一	「八重山群島年中行事調査報告—播種祭並びに発育と成 熟儀礼—」・『日本社会事業大学研究紀要』8集
1962年5月	
植 松 明 石	「先島の御嶽をめぐる」・『日本民俗学会報』24号
同 8月	
植 松 明 石	「先島列島の祭祀集団をめぐる」・『東京都立大学社会 人類学研究会報』1号
同 12月	
伊 藤 幹 治	「八重山群島における兄弟姉妹を中心とした親族関係」 ・『民族学研究』27巻1号

著 者 名	論 文 名 ・ 収 録 誌 名 ・ 巻 号
宮 良 高 弘	「八重山群島におけるいわゆる秘密結社について」・『民族学研究』27巻1号
1963年5月	
黒 島 寛 松	「琉球・慶来慶田城由来記より」・『暖帯林』18巻5号
石 原 憲 治	「南島の旅—沖縄西表島紀行—」・『民俗建築』43号
1964年1月	・
住 谷 一 彦	「アカマタ・クロマター八重山印象記『南海の秘密結社』」・『みすず』56号
同 12月	
馬 淵 東 一	「爬龍船について」・『沖縄文化』16号
住 谷 一 彦	「南西諸島の Geheimkult—新城島のアカマタ・クロマタ覚書」・『石田英一郎教授還暦記念論集』
宮 良 高 弘	「八重山群島の親族構造」・『東洋大学大学院紀要』第1集
宮 良 高 司	「波照間島における御嶽の諸形態」・『東洋大学大学院紀要』第1集
宮 良 高 弘	「波照間島における御嶽の諸形態」・『日本人類学会・日本民族学協会連合大会記事』18集
住 谷 一 彦	「〈波照間の秘密構造〉 1. 秘密集団の社会構造」・『日本人類学会・日本民族学協会連合大会記事』18集
クライナー・ヨーゼフ	「〈波照間の秘密構造〉 2. 神祭と神概念」・『日本人類学会・日本民族学協会連合大会記事』18集
1965年8月	
横 田 健 一	「沖縄八重山の祭儀とその文化層—文化人類学的考察—」・『文学』33巻8号

著 者 名	論 文 名 ・ 収 録 誌 名 ・ 巻 号
植 松 明 石	「新城島の年齢集団について」・『東京都立大学社会人類学研究会報』2号
同 9月	
馬 淵 東 一	「波照間島その他の氏子組織」・『日本民俗学会報』41号
崎 原 恒 新	「八重山郡黒島の葬制」・『南島研究』3号
同 10月	
伊 藤 幹 治	「八重山・西表島の親族関係と祭団の構造と変化」・『沖縄の社会と宗教』
植 松 明 石	「八重山・黒島と新城島における祭祀と親族」・『沖縄の社会と宗教』
村 武 精 一	「八重山・小浜島の聖城 (wan) 祭祀」・『沖縄の社会と宗教』
同 12月	
村 武 慶	「琉球八重山の宇宙開闢説話」・『民族学研究』30巻3号
吉 田 久 一	「八重山群島年中行事調査報告(4) 豊年祭=穂利祭・その他」・『日本社会事業大学研究紀要』12集
1966年2月	
宮 良 高 弘	「祭祀継承からみた村落共同体の構造—琉球・波照間島の場合—」・『共同体の比較研究』第4輯
同 4月	
植 松 明 石	「八重山の豊年祭」・『東京都立大学社会人類学研究会報』3号
同 7月	
沖縄学生文化協会	「黒島・波照間の先史遺跡概要」・『郷土』3号
宮 良 節	「黒島(八重山)の概況」・『郷土』3号

著 者 名	論 文 名 ・ 収 録 誌 名 ・ 巻 号
宮 良 節	「波照間島の概況」・『郷土』3号
宮 良 節	「波照間島・黒島の伝説」・『郷土』3号
大城康雄 他	「黒島・波照間島の年中行事」・『郷土』3号
宮 良 高 弘	・「琉球八重山群島における『一門』の形成」・『日本人類学・日本民族学会連合大会記事』21集
1967年3月 クライナー・ヨ ーゼフ コルネリウス・ アウエハント	「南西諸島における神観念・他界観の一考察」・『沖縄文化』23号 「波照間島の神行事について」・『沖縄文化』23号
同 5月 崎 原 恒 新	「八重山の豊年祭」・『南島研究』6号
同 6月 松 永 和 人	「沖縄・八重山・与那国島の『門中』に関する予備的報告」・『民族学研究』32巻1号
同 11月 酒 井 卯 作	「琉球における村落と祭場の問題」・『南島研究』7号
崎 原 恒 新	「アカマタとシツ」・『南島研究』7号
真 野 俊 和	「八重山古見の豊年祭」・『民族学評論』1号
三 隅 治 雄	「南島の歌謡とその民俗—世乞いの歌について—」・『日本歌謡研究』5号
1968年3月 宮 良 高 弘	「『黒マタ・白マタ・赤マタ』の祭祀—西表島古見の豊年祭—」・『札幌大学紀要教養部論集』1集

著 者 名	論 文 名 ・ 収 録 誌 名 ・ 巻 号
1968年4月	
崎 原 恒 新	「南島の葬制」・『南島研究』8号
同 6月	
宮 里 喜美子	「マイツバについて」・『八重山文化』創刊号（石垣中学歴史クラブ）
同 12月	
源 武 雄	「来訪神とお嶽の神」・『南島研究』9号
宮 良 高 弘	「八重山における一門の史的考察」・『社会と伝承』11巻3・4号
比 嘉 政 夫	「琉球の祭祀と世界観」・『東京都立大学社会人類学研究会報』5号
馬 淵 東 一	「オナリ神をめぐる類比と対比」・『日本民族と南方文化』
1969年1月	
友 寄 英 和	「西表の豊年祭」・『八重山文化』2号
同 3月	
崎 原 恒 新	「八重山の正月」・『沖縄民俗同好会報』10号
崎 原 恒 新	「八重山の種子取祭」・『南島研究』10号
同 4月	
崎 原 恒 新	「八重山のしめなわ」・『まつり通信』99号
同 6月	
比 嘉 政 夫	「八重山川平におけるお嶽をめぐる儀礼と祭祀組織」・『民族学研究』34巻1号
黒 坂 富 治	「沖縄・竹富島の古民謡について」・『日本歌謡研究』8号

著 者 名	論 文 名 ・ 収 録 誌 名 ・ 卷 号
原 岡 信	「川平の公的社会組織」・『八重山調査報告書—川平・古見—』
千野根 照 美	「川平の祭」・「八重山調査報告書—川平・古見—」
高 崎 彰	「古見の御嶽」・『八重山調査報告書—川平・古見—』
池 内 由二郎	「アカタマ・クロマタを信仰する部落」・『八重山調査報告書—川平・古見—』
三 隅 治 雄	「八重山の他界神」・『民俗芸能』37号
与那原 真 吾 1970年2月 大城健雄・高田悦子	「与那国島春祭」・『まつり通信』96号 「西表島租納の年中行事」・『郷土』8号
宮 良 安 彦 同 6月	「平得部落ギシュク御嶽の年中の願いごと」・『沖縄文化』29号
崎 原 恒 新	「西表島東部地区紀行」・『南島研究』11号（目次の「西表島西部地区紀行」は誤）
酒 井 卯 作	「ミロク信仰の流布と機能」・『南島研究』11号
新 城 安 善	「齋（サイ）をいざなう—八重山における共食（communion）の一考察—」・『沖縄文化』30・31号
谷 川 健 一 同 7月	「与那国・石垣・宮古の旅」・『展望』138号
源 武 雄	「アガルカーラのジラバ—高嶺翁との問答ノート—」・『沖縄民俗同好会報』12号

著 者 名	論 文 名 ・ 収 録 誌 名 ・ 巻 号
上江洲 均	「先島の御嶽（現況報告）」(1)・『沖縄民俗同好会報』12号
1970年8月	
源 武雄	「マユンガナシの出現—高嶺翁との問答ノート—」① ・『沖縄民俗同好会報』13号
崎原恒新	「八重山の説話」(1)・『沖縄民俗同好会報』13号
上江洲 均	「先島の御嶽」(2)・『沖縄民俗同好会報』13号
同 9月	
源 武雄	「マユンガナシの出現—高嶺翁との問答ノート—」② ・『沖縄民俗同好会報』14号
崎原恒新	「八重山の説話」(2)・『沖縄民俗同好会報』14号
上江洲 均	「先島の御嶽」(3)・『沖縄民俗同好会報』14号
高橋春子	「沖縄八重山群島における民俗服飾」・『日本民俗学』71号
徳井 賢	「先島巨石墓について」・『民族学研究』35巻2号
同 10月	
源 武雄	「川平のシツ祭—高嶺翁との問答ノートから—」・『沖縄民俗同好会報』15号
宮良賢貞	「石垣市川平」・『沖縄の民俗資料 第1集』
宮良賢貞	「竹富町黒島」・『沖縄の民俗資料 第1集』
崎山 毅	「竹富町竹富」・『沖縄の民俗資料 第1集』

著 者 名	論 文 名 ・ 収 録 誌 名 ・ 卷 号
前 大 用 芳 1971年3月	「西表島祖納」・『沖縄の民俗資料 第1集』
崎 原 恒 新	「八重山の結願祭」・『まつり』17号
山 城 善 三	「竹富島の種子取祭について」・『まつり』17号
崎 原 恒 新	「八重山の雨乞い信仰」・『まつり』17号
湧 上 元 雄	「西表島古見村のプール—黒マタ・白マタ・赤マタの祭祀—」・『まつり』17号
崎 原 恒 新	「八重山の節祭」・『まつり』17号
宮 良 賢 貞	「八重山地方の獅子舞と獅子祭の祝詞について」・『まつり』17号
保 仙 純 剛	「与那国島におけるビジュアルに関する田植儀礼」・『人類科学』23号
同 6月	
宮 本 演 彦	「南島・村々の祭り—附・アカマタ・クロマタ・マユンガナシの詞章—」・『南島研究』12号
宮 良 賢 貞 他	「川平のきついくわん祭り—牛を神に供える祭り—」・『南島研究』12号
湧 上 元 雄	「沖縄の呪禱文学—八重山川平の『マユンガナシの神口』考—」・『琉球大学文学語学論集』15号
植 松 明 石	「女性の霊威をめぐる覚書」・『わが沖縄4・村落共同体』

著 者 名	論 文 名 ・ 収 録 誌 名 ・ 卷 号
1971年8月	
喜舎場 永 珣	「八重山・黒島の創世神話と黒島諸御嶽由来」・『沖縄文化』36・37号
宮 良 賢 貞	「根来神“まゆんがなし”について」・『沖縄文化』36・37号
新 城 安 善	『「左右」(さう)考』・『沖縄文化』36・37号
宮 良 安 彦	「石垣島・川平諸御嶽の由来と群星御嶽の神口」・『沖縄文化』36・37号
同 12月	
宮 田 登	「沖縄のミルク神」・『民族学研究』36巻3号
浦 山 勤	「村祭ノート」・『第十次沖縄八重山調査隊与那国島調査報告書』
添 田 道 子	「与那国の葬祭」・『第十次沖縄八重山調査隊与那国島調査報告書』
笠 原 政 治	「黒島報告」(1)・『南島研究誌 世』1号
比 嘉 政 夫	「常世神と他界観」・『古代の日本 2 風土と生活』
1972年2月	
宮 良 賢 貞	「八重山地方の夏祭—石垣市字川平のプーリィー」・『沖縄文化』38号
同 3月	
小 川 徹	「沖縄年中祭祀の歴史地理的考察」・『法政大学文学部紀要』18号
源 武 雄	「序説」・『沖縄県史』22巻民俗1

著 者 名	論 文 名 ・ 収 録 誌 名 ・ 巻 号
仲 松 弥 秀	「村と生活」・『沖縄県史』22巻民俗1
平敷令治・又吉真三	「衣・食・住」・『沖縄県史』22巻民俗1
源武雄・名嘉真宜勝	「一生の儀礼」・『沖縄県史』22巻民俗1
饒平名 健 爾	「民間信仰」・『沖縄県史』22巻民俗1
多和田 真 淳	「民間療法」・『沖縄県史』22巻民俗1
1972年4月 松 岡 明	「八重山諸島『赤マタ・黒マタ』資料大成」・『遊行鬼』 1号
同 5月 崎 原 恒 新	「八重山民謡にあらわれた農民の生活」・『南島研究』 13号
牧 野 清	「八重山を中心とした南北民族交渉史」・『南島史論—富 村真演教授還暦記念論文集—』
宮 良 高 弘	「八重山のいわゆる秘密結社」・『南島史論—富村真演教 授還暦記念論文集—』
同 9月 本位田 重 美	「沖縄原住民に関する一仮説—小浜島のアカマタ祭を手 がかりとして—」・『人文論究』22巻2号
同 11月 仲松 弥秀 他	「新城島『アカムタ祭祀』をめぐって」(座談会)・『沖 縄経験』4号
まくた ただし	「ぶーる」・『南風(ばいかじ)』
笠 原 政 治	「黒島研究(Ⅱ)」・『南島研究誌 世』2号

著 者 名	論 文 名 ・ 収 録 誌 名 ・ 巻 号
戸 川 史 子	「八重山鳩間島報告抄 信仰伝承を中心としてみた鳩間島」・『南島研究誌 世』2号
コルネリウス・ アウェハント	「波照間島の雨乞い儀礼」・『アジア研究』26号
瀬名波 長 宣	「まがたま考」・『沖縄春秋』4号
宮 良 高 弘	「八重山群島」・『沖縄の民族学的研究—民俗社会と世界像—』
山 下 欣 一	「南西諸島の兄妹始祖説話をめぐる問題」・『昔話伝説研究』2巻21号
宮 良 安 彦	「石垣島・平得、真栄里両村の村落移動と諸御嶽の来歴」・『琉大史学』3号
1972年～1976年 伊 藤 良 吉	「八重山与那国島の葬制・墓制」・『フォクロア』17号～32号
1973年2月 遊 行 鬼	「赤マタの村—西表島・古見拾遺記—」・『季刊柳田国男研究』1号
同 3月 比 嘉 政 夫	「沖縄の年中行事」・『沖縄県史』23巻民俗2
村武ゼミナール	「八重山村落社会の祭祀的世界—竹富町・小浜島を中心として—」・『明治大学社会学関係ゼミナール報告』
宮 良 高 弘	「御嶽の祭祀組織」・『沖縄の民族学的研究—民族社会と世界像—』
宮 良 高 弘	「アカマタ・クロマタの祭祀組織」・『沖縄の民族学的研究—民族社会と世界像—』

著 者 名	論 文 名 ・ 収 録 誌 名 ・ 巻 号
1973年5月 安 積 銳 二	「離島の神話」・『虹—総合文化誌』20号
同 7月 宮 良 高 弘	「概説I・沖縄文化研究の成果」・『現代のエスプリ』72号
馬 淵 東 一	「沖縄先島のオナリ神」・『現代のエスプリ』72号
江 守 五 夫	「八重山群島の社会組織」・『現代のエスプリ』72号
仲 松 弥 秀	「御嶽の神」・『現代のエスプリ』72号
宮 良 賢 貞	「根来神“まゆん・がなしい”について」・『現代のエスプリ』72号
湧 上 元 雄	「南島の訪問者儀礼と仮面信仰—八重山のマユンガナンと赤マター黒マター」・『青い海』24号
三 隅 治 雄	「“世乞い”のまつり—ニライ信仰と神々を招くまつりの行事」・『青い海』24号
江 守 五 夫	「琉球八重山群島の社会組織—その概観と問題点—」・『民族学ノート—岡正雄教授還暦記念論文集—』
宮 良 高 弘	「沖縄村落の社会組織と祭祀生活」・『人類科学』25号
同 9月 安 積 銳 二	「離島の英雄時代」・『虹—総合文化誌』21号
同 10月 牧 野 清	「島々の概観」・『八重山の社会と文化』
崎 山 直	「歴史(1)近代以前の概観」・『八重山の社会と文化』

著 者 名	論 文 名 ・ 収 録 誌 名 ・ 卷 号
宮 良 高 弘	「宗教(1)祭祀組織と村落の構造」・『八重山の社会と文化』
新 城 敏 男	「宗教(2)仏教の伝播と信仰」・『八重山の社会と文化』
宮 良 賢 貞	「民俗(1)八重山の民俗芸能」・『八重山の社会と文化』
新 城 安 善	「民俗(2)八重山にみるタマス（分配物）の周辺」・『八重山の社会と文化』
宮 良 高 弘	「社会 八重山の一門制度」・『八重山の社会と文化』
宮 良 高 弘	「八重山研究史—研究者とその業績—」・『八重山の社会と文化』
笠 原 政 治	「神役組織再編成の局面—八重山・黒島の事例分析—」 ・『南島史学』3号
同 11月	
宮 田 登	「『ミロク』の構造」・『宗教研究』47巻1号
同 12月	
崎 原 恒 新	「村々の伝承を訪ねて—私の採訪ノートから—」・『青い海』28号
草 薙 威一郎	「沖縄・八重山群島の村落社会についての覚え書—西表島祖納に視点を置いて—」・『八重山報告書 西表島祖納』
林 恒 夫	「祖納の慶来慶田城用緒」・『八重山報告書 西表島祖納』
渡 辺 静 江	「星立部落のお盆のこと」・『八重山報告書 西表島祖納』

著 者 名	論 文 名 ・ 収 録 誌 名 ・ 卷 号
二ノ丸 くみ子	「与那国島伝説資料ノート」・『八重山報告書 西表島祖納』
牧 田 勲	「八重山の一村落と祭祀世界—西表祖納の集落構成と聖域構成—」・『八重山報告書 西表島祖納』
宮 里 千 里	・「新城島上地の豊年祭」・『南島 (パイヌスマ)』創刊号
高江洲 義 英	「石垣島のカンヌシ (聞き取り)」・『南島 (パイヌスマ)』創刊号
黄 金 千里眼 1974年3月	「黒島のパーレー」・『南島 (パイヌスマ)』創刊号
湧 上 元 雄	「八重山川平村の村落構造と年中行事」・『人類科学』26号
宮 城 栄 昌	「ノロと祭祀—プール・結願祭・節祭・柴差—」・『沖縄国際大学文学部紀要社会学科篇』2巻1号
同 5月	「八重山古代史の研究」・『八重山文化』1号
牧 野 清	同 6月
同 6月	「八重山の古制『ハカ』に関する研究」・『琉大史学』5号
牧 野 清	同
源 武 雄	「宮古群島・八重山群島地域における婚姻民俗の概観」・『琉球文化』5号
同 9月	「琉球八重山の伝統的家屋—その方位と平面形式にかんする覚書—」・『民族学研究』39巻2号
同 12月	同
植 松 明 石	「新城島の畑作」・『八重山文化』2号

著 者 名	論 文 名 ・ 収 録 誌 名 ・ 巻 号
石 垣 博 孝	「西表租納のシチィ」・『八重山文化』2号
新 城 敏 男	「ノロと死者供養儀礼—桜井徳太郎氏著『沖縄のシャマニズム』にふれて」・『八重山文化』2号
亀 井 保 信	「ふるさと八重山の芸能」・『青い海』31号
山 里 純 一	「忘れえぬ思い出—島の祭りの戦慄と感動」・『青い海』31号
1975年1月	
大 島 修	「八重山の獅子舞」・『青い海』39号（1975年新年号）
上 田 正 昭	「先島の神々—土着とヤマト文化のはざままで—」・『青い海』40号
同 2月	
宮 城 栄 昌	「固有信仰」・『沖縄県史』5巻文化1
平 敷 令 治	「民族学・民俗学」・『沖縄県史』5巻文化1
仲井間 元 楷	「民俗芸能・舞踊」・『沖縄県史』6巻文化2
新 城 安 善	「沖縄研究の書誌とその背景」・『沖縄県史』6巻文化2
同 3月	
牧 野 清	「八重山の文化と歴史」・『青い海』41号
森 田 孫 栄	「八重山の芸能—完結した異質なこの豊饒を支えるもの—」・『青い海』41号
石 垣 博 孝	「八重山の祭事—ニライ・カナイの思想を記録する—」・『青い海』41号

著 者 名	論 文 名 ・ 収 録 誌 名 ・ 巻 号
崎 原 恒 新	「石垣の盆行事」・『まつり』25号
平 敷 令 治	「新城島のアカムタ・クロムタ祭祀—上地のウフプール 覚書—」・『沖縄国際大学文学部紀要社会学科篇』3巻1 号
1975年6月 住谷一彦・クライ ナー・ヨーゼフ	「パティローマーモノグラフによる日本民族=文化複合 へのアプローチ」(1)・『思想』1975年6月号
同 10月 住谷一彦・クライ ナー・ヨーゼフ	「パティローマーモノグラフによる日本民族=文化複合 へのアプローチ」(2)・『思想』1975年10月号
中 沢 新 一	『赤マタ・黒マタ』祭祀の構造」・『沖縄文化研究』2
牧 野 清	「神々の掟」・『南島研究』16号
同 11月 伊 藤 良 吉	「女と家 沖縄・与那国島の家 <small>の</small> 神祭祀をめぐって」・ 『名古屋民俗』12号
同 12月 住谷一彦・クライ ナー・ヨーゼフ	「パティローマーモノグラフによる日本民族=文化複合 へのアプローチ」(3)・『思想』1975年12月号
笠 原 政 治	「琉球的系譜観とその変質過程—八重山島嶼社会におけ る親族体系理解のために」・『社』8巻1・2・3号
田 中 真 治	「八重山地方の宗教形態と機能—特に川平・比川を中心 として—」・『地域文化研究』1号
迎里文雄・内盛唯夫	「竹富のキザール—年中行事—」・『たけとみ—東京竹 富郷友会創立50周年記念誌』

著 者 名	論 文 名 ・ 収 録 誌 名 ・ 巻 号
1976年2月	
湧 上 元 雄	「八重山の節祭と生産暦」・『沖縄—自然・文化・社会—』
湧 上 元 雄	「八重山の仮面崇拜」・『沖縄—自然・文化・社会—』
三 隅 治 雄	「沖縄芸能の伝承基盤—八重山のプーリを中心に—」・『沖縄—自然・文化・社会—』
宮 良 高 弘	「祭祀集団と村落社会—八重山・鳩間島を中心として—」・『沖縄—自然・文化・社会—』
比 嘉 政 夫	「沖縄の村落構造と世界観」・『新沖縄文学』31号
牧 野 清	「御嶽信仰について」・『琉大史学』8号
石 垣 博 孝	「西表千立村のシィチィ」・『琉大史学』8号
同 5月	
加屋本 正 一	「波照間島の農耕と儀礼」・『八重山文化』4号
喜舎場 孫 正	「八重山の昔話」(1)・『八重山文化』4号
新本 ニルムイ	「椀海のマユンガナシ」・『八重山文化』4号
伊 藤 良 吉	「沖縄・与那国島における水の神信仰について」・『南島史学』8号
同 7月	
大 城 学	「鳩間島の豊年祭」・『沖縄芸能史研究』創刊号
同 11月	
石 垣 繁	『稲が種子アヨウ』からみた八重山地方の稲作儀礼」・『南島—その歴史と文化—』1

著 者 名	論 文 名 ・ 収 録 誌 名 ・ 巻 号
比 嘉 政 夫	「『琉球国由来記』にみる地域差—御嶽の神名などをめぐって—」・『南島—その歴史と文化—』 1
1976年12月	
牧 野 清	「八重山のビッチル（自然石）信仰」・『八重山文化論集』第1集
前 花 哲 雄	「定説に対する疑問」・『八重山文化論集』第1集
伊 波 寛	「伝承に見る平得村の村落移動」・『八重山文化論集』第1集
石 垣 博 孝	「竹富島のユーンカイ（世迎い）」・『八重山文化論集』第1集
石 垣 繁	「八重山地方の稲作儀礼—その1 播種儀礼について」 ・『八重山文化論集』第1集
砂 川 哲 雄	「南島歌謡における祝女の山ごもりと造船」・『八重山文化論集』第1集
コルネリウス・ アウエハント	「波照間島の神歌」・『アジア民族学研究』
仲 本 信 幸	「波照間島に伝はる神話」・『虹—総合文化誌』 29号
1977年3月	
石 垣 博 孝	「西表租納村のシィチィ（節祭）」・『石垣市立八重山博物館報』創刊号
同 4月	
鈴 木 正 崇	「八重山の時間感覚」・『沖縄文化』 47号
同 5月	
宮 良 賢 貞	「八重山郷土芸能史概説」・『八重山文化』 5号

著 者 名	論 文 名 ・ 収 録 誌 名 ・ 巻 号
1977年6月	
鈴木正崇	「波照間島の神話と儀礼」・『民族学研究』42巻1号
伊藤良吉	「料理の構造—沖縄・与那国島比川における料理のシンボルズム—」・『民族学研究』42巻1号
同 9月	
佐藤善五郎	「プーリン・豊穣への願いをこめて—八重山白保の豊年祭について—」・『青い海』66号
同 11月	
宮本演彦	「マユンガナシのウトーツについて」・『南島研究』18号
石垣 繁	「八重山地方の稲作儀礼」・『まつり通信』195号
伊藤良吉	「年中行事の構造—沖縄・与那国島比川の事例—」・『民俗学への思索—中央大学郷土研究会12周年論集』
伊藤良吉	「沖縄・与那国島比川の他界観」・『宗教研究』234号
小島櫻禮	「おたけ（御岳）からみた山岳信仰」・『英彦山と九州修験道』（山岳宗教史研究叢書13）
仲松弥秀	「祖霊信仰とうたき」・『英彦山と九州修験道』（山岳宗教史研究叢書13）
田中真治	「石垣島川平における民間信仰について」・『近畿民俗』71号
堀田吉雄	「八重山豊年祭のパターン」・『まつり通信』200号
宮良高弘	「『黒マタ・白マタ・赤マタ』の祭祀—西表島・古見部落の豊年祭—」・『日本祭祀研究集成』5巻

著 者 名	論 文 名 ・ 収 録 誌 名 ・ 巻 号
1977年～1978年 植松明石	「新城島—その光と影」(1)～(4)・『フォークロア』1号～4号
1978年6月 植松明石	「八重山の年中儀礼—考察への予備的覚書(一)—」・『沖縄文化研究』5
狩俣恵一	「竹富島の種子取祭と芸能」・『沖縄文化研究』5
崎山直	「『世』の思想—ユートピアをさぐる—」・『八重山文化』6号
佐藤善五郎	「白保プーリンと神楽」・『八重山文化』6号
同 8月 (不明)	「八重山・竹富島の民俗宗教誌」・『社』10巻1・2号
同 12月 酒井卯作	「(資料) 八重山郡古見の葬制聞書」・『南島研究』19号
平良豊勝	「八重山の昔話」・『沖縄民俗研究』創刊号
牧野清	「八重山中世史の研究」・『南島史論』(二)
新田重清	「先島の先史・古代文化と南方的要素」・『南島史論』(二)
安溪遊地	「西表島の稲作—自然・ヒト・イネ—」・『季刊人類学』9巻3号
伊藤良吉	「沖縄・与那国島比川の神観念」・『フォークロア』36号～38号

著者名	論文名・収録誌名・巻号
伊波 寛	「八重山における古代社会の一考察—スク時代と前期英雄時代の想定—」・『琉大史学』10号
萩原 秀三	「夏の盛りに石垣島の豊年祭」・『ふるさとへの旅 日本の四季』16巻
比嘉 政夫	「親族と祭団の構造—八重山の事例研究—」・『沖縄の外来宗教—その受容と変容—』
1979年2月	
鈴木 正崇	「八重山群島における時間認識の諸相」・『南島史学』13号
同 3月	
東田 正祥	「竹富島の民俗芸能」・『八重山の民俗芸能』(1)
仲座 善祥	「波照間島の民俗芸能—ムシャーマを中心として—」・『八重山の民俗芸能』(1)
当間 一郎	「新城島のプーリ」・『八重山の民俗芸能』(1)
当間 一郎	「与那国島の村祭り」・『八重山の民俗芸能』(1)
大仲 重雄	「与那国島の芸能」・『八重山の民俗芸能』(1)
石垣 博孝	「八重山の祭式謡」・『石垣市立八重山博物館館報』2号
高桑 史子	「八重山鳩間島における信仰体系と系譜観の変化—過疎化社会における信仰生活の実態—」・『社』10巻3・4号
同 7月	
牧瀬 恒二	「ニライ・カナイの海神と記紀の神々—その出自と歴史的段階の考察—」・『八重山文化』7号

著 者 名	論 文 名 ・ 収 録 誌 名 ・ 巻 号
阿佐井 孫 良 1979年9月	「竹富島の種子取祭を考える」・『八重山文化』7号
石 垣 博 孝	「大浜村のプーリィ」・『南島—その歴史と文化—』2
保 仙 純 剛 同 10月	「ビディリと民間信仰」・『南島—その歴史と文化—』2
玉 栄 清 良 同 12月	「豊年祭と古謡」・『沖縄国際大学文学部紀要国文学篇』 8巻1号
平 良 豊 勝	「沖縄・八重山地方における婚姻と産育」・『沖縄民俗研 究』2号
名嘉真 宜 勝	「八重山石垣市川平の葬制」・『沖縄民俗研究』2号
加治工 真 市	「ニライカナイの文化をたずねて」・『新・海上の道』
ゴールドン・バ ーバラ	「小浜のポールの日記—大鼓をめぐる観察」・『人類文 化』創刊号
下 野 敏 見	「紅頭嶼・台湾・八重山の民俗」・『海南民俗研究』3号
鈴 木 正 崇	「来訪神祭祀の世界観—赤マタ・白マタ・黒マタ再考」 ・『社会人類学年報』5号
田 中 義 弘	「竹富島種子取祭」・『まつり通信』216号
仲宗根 幸 一	「川平『上村』の来訪神マユンガナンについて」・『まつ り通信』218号
鈴 木 正 崇	「波照間の盆とムシャーマ」・『まつり通信』218号

著 者 名	論 文 名 ・ 収 録 誌 名 ・ 巻 号
1980年3月	
前 盛 義 英	「宮良村における御嶽信仰—『山崎御嶽』に関する一考察—」・『八重山文化論集』2
伊 波 寛	「八重山の原始・古代社会への一視点」・『八重山文化論集』2
石 垣 博 孝	「西表のシクマ」・『八重山文化論集』2
玉 津 博 克	「近世期前半の八重山—人口動態と村落編成を中心にして—」・『八重山文化論集』2
渡 辺 欣 雄	「沖縄最西端与那国島における伝統文化と外来文化—覚書きとして—」・『跡見学園女子大学紀要』13号
石 垣 博 孝	「宮良村のイタツキバラ」・『八重山の民俗芸能』(2)
森 田 孫 栄	「川平(上の村)の節祭の真世加那志」・『八重山の民俗芸能』(2)
同 10月	
山 下 欣 一	「八重山諸島の御嶽起源説話について—『八重山嶋由来記』を中心に—」・『日本民族文化とその周辺 歴史・民族篇—国分直一博士古稀記念論集』
石 垣 繁	「八重山地方の『稲作儀礼』その1播種儀礼について」 ・『南島—その歴史と文化—』3
笠 原 政 治	「八重山離島における『神元』の系譜構造」・『南島—その歴史と文化—』3
同 12月	
西村 朝日太郎	「与那国民俗誌素稿」・『民間伝承』44巻3号

著 者 名	論 文 名 ・ 収 録 誌 名 ・ 巻 号
田 中 真 治	「八重山川平における祭祀集団と系譜集団の関連および世界観の問題について」・『岡山民俗』（特集号）
比 嘉 政 夫	「民間の祭り」・『日本の古代信仰3 呪いと祭り』
牧 野 清	「御嶽の縁起神話と八重山歴史」・『沖縄アルマナック』2号・
(不 明)	『琉球国由来記』にみられるウタキ分布」・『沖縄アルマナック』2号
1981年3月	
新 城 和 治	「石垣市の主な御嶽の植生」・『沖縄県社寺・御嶽林調査報告』Ⅳ
新 島 義 龍	「竹富町竹富島の主な御願所林の植生」・『沖縄県社寺・御嶽林調査報告』Ⅳ
新 納 義 馬	「竹富町黒島の主な御嶽の植生」・『沖縄県社寺・御嶽林調査報告』Ⅳ
新 島 義 龍	「竹富町小浜島の主な御願所の植生」・『沖縄県社寺・御嶽林調査報告』Ⅳ
宮 城 康 一	「竹富町西表島の主な御嶽の植生」・『沖縄県社寺・御嶽林調査報告』Ⅳ
新 納 義 馬	「竹富町波照間島の御嶽林」・『沖縄県社寺・御嶽林調査報告』Ⅳ
宮 城 朝 章	「与那国町の御嶽の植生」・『沖縄県社寺・御嶽林調査報告』Ⅳ

著 者 名	論 文 名 ・ 収 録 誌 名 ・ 巻 号
天 野 鉄 夫	「先島群島の主要御嶽の植物方言名」・『沖縄県社寺・御嶽林調査報告』Ⅳ
当 間 一 郎	「小浜島の結願祭」・『八重山の民俗芸能』(3)
幸 地 哲	「川平村の結願祭」・『八重山の民俗芸能』(3)
大 城 学	「鳩間島のソーラン」・『八重山の民俗芸能』(3)
当 間 一 郎	「竹富島の種子取祭」・『八重山の民俗芸能』(3)
玉 城 功 一	「白保のプーリン」・『八重山の民俗芸能』(3)
那 根 武	「西表島祖納の節祭」・『八重山の民俗芸能』(3)
石 垣 博 孝	「宮良村のイタチィキィバラ」・『石垣市立八重山博物館紀要』創刊号
牧 野 清	「八重山の衣・食・住」・『リトルワールド研究報告』第5巻—沖縄県八重山諸島の民俗—
石 垣 繁	「八重山の生業とその変遷」・『リトルワールド研究報告』第5巻—沖縄県八重山諸島の民俗—
石 垣 博 孝	「八重山の宗教儀礼」・『リトルワールド研究報告』第5巻—沖縄県八重山諸島の民俗—
松 村 敬 子	「八重山諸島民族学関係文献目録」・『リトルワールド研究報告』第5巻—沖縄県八重山諸島の民俗—
平 良 豊 勝	「八重山地方における年中行事」・『沖縄民俗研究』3号

著 者 名	論 文 名 ・ 収 録 誌 名 ・ 巻 号
名嘉真 宜 勝	「八重山石垣市川平の産育と婚姻」・『沖縄民俗研究』 3号
1981年4月	
与那原 真 吉	「国境の島与那国の情緒」・『まつり』 37号
東浜永成・富里康子	「与那国島の祭事」・『まつり』 37号
杉 島 敬 志	「与那国島の『神の月』」・『まつり』 37号
本 田 安 次	「与那国島のカンブナガ」・『まつり』 37号
植 野 弘 子	「与那国のマチリと神器祭祀」・『まつり』 37号
伊 藤 良 吉	「与那国島比川の他界伝承をめぐって」・『まつり』 37号
同 5月	
石 垣 繁	「八重山地方の『稲作儀礼』 その1—播種儀礼について—」・『えとのす』 15号
同 7月	
山 里 純 一	「八重山新城島の節祭り歌謡」・『奄美沖縄民間文芸研究』 4号
同 11月	
福 田 晃	「八重山の昔話」・『八重山文化』 8号
宇 根 弘	「ウーニトウズの『由来記』と伝承」・『八重山文化』 8号
同 12月	
喜舎場 兼 美	「石垣市川平の葬制・補遺」・『南島研究』 22号
佐々木 直 彦	「沖縄と信仰」・『沖縄社会意識調査報告集』(I)

著者名	論文名・収録誌名・巻号
村尾佳伸	「ユタに関する若干の考察」・『沖縄社会意識調査報告集』(I)
石垣博孝	「オモト岳に関する信仰習俗について」・『沖縄県自然環境保全地域指定候補地学術調査報告—於茂登岳及びその周辺地域—』
1982年3月	
石垣博孝	「川平村のマユンガナシと節祭」・『石垣市立八重山博物館紀要』2号
同 4月	
須藤功	「八重山の四季」・『神々との遊び』
同 6月	
上勢頭亨	「竹富島の鍛冶伝承」・『沖縄文化研究』9
同 9月	
高桑史子	「八重山—島嶼社会における系譜意識の変化—」・『民族学研究』47巻2号
川本純子	「波照間の歴史における人頭税と移住」・『沖縄社会意識調査報告集』(II)
並本浩美	「波照間の人々の結びつきについて」・『沖縄社会意識調査報告集』(II)
加藤文哉	「波照間島に於ける神行事について」・『沖縄社会意識調査報告集』(II)
島山篤	「波照間島の豊年祭と祈年祭」・『波照間島調査報告書』
1983年3月	
コルネリウス・ アウェハント	「兄弟姉妹 (bigiri-bunari) の関係について—波照間島の場合—」・『沖縄文化の源流を考える—復帰10周年記念行事沖縄研究国際シンポジウム報告書—』

著 者 名	論 文 名 ・ 収 録 誌 名 ・ 卷 号
アルネ・レックム	「島世界の秩序」・『沖縄文化の源流を考える—復帰10周年記念行事沖縄研究国際シンポジウム報告書—』
石 垣 博 孝	「八重山芸能の概要」・『八重山の民俗芸能—八重山民俗芸能写真展—』
玻名城 泰 雄	「古文書に見る八重山芸能の底辺—アカマタ・クロマタとマユンガナンを中心に—」・『八重山の民俗芸能—八重山民俗芸能写真展—』
1983年4月 伊 藤 幹 治	「沖縄の神話と聖地」・『月刊みんぱく』7巻4号
同 6月 武 藤 美也子	「八重山“豊年祭”報告」・『地域と文化』19号
同 10月 大 城 学	「鳩間島の祭祀と文芸—結願祭を中心に—」・『沖縄文化研究』10
阿佐井 孫 良	「竹富島のこと」(1)・『たけとみ』22号
1984年1月 武藤美也子・中 村信之	「沖縄の祭祀—八重山群島の豊年祭」・『近畿民俗』96 ・97号
同 2月 武 藤 美也子	「沖縄の祭祀・八重山の豊年祭—ユーヌジュビ・バンブ トッキを中心に—」・『神戸女子短期大学学会論攷』 29巻1号
同 3月 大 城 学	「くらしと祭り—鳩間島の〈豊年祭〉を中心に—」・『紀 要』1号(沖縄県教育委員会文化課)
同 6月 石 垣 博 孝	「南島の稲作儀礼—沖縄・八重山・与那国—」・『南島の 稲作文化—与那国島を中心に—』

著 者 名	論 文 名 ・ 収 録 誌 名 ・ 巻 号
大 林 太 良	「南島稲作起源伝承の系譜」・『南島の稲作文化—与那国島を中心に—』
高 谷 紀 夫	「島世界としての構造と秩序」・『南島の稲作文化—与那国島を中心に—』
飯 島 茂	「与那国社会の南島の性格—その生態と構造への試論—」・『南島の稲作文化—与那国島を中心に—』
安 溪 遊 地	「与那国農民の生活—西表島との対比から—」・『南島の稲作文化—与那国島を中心に—』
阿佐井 孫 良	「竹富島のこと」(2)・『たけとみ』23号
住 谷 一 彦 1984年9月	「パティローマの神歌」・『文学』52巻6号
山 内 健 治 同 10月	「黒島の年序体系と親族組織」・『南島史学』24号
新 城 敏 男	「沖縄八重山の大阿母について」・『沖縄文化』63号
畠 山 篤	「黒島の正月行事—綱引きの歌謡を中心に—」・『沖縄国際大学文学部紀要（国文学篇）』13巻1号
平 敷 令 治 同 11月	「沖縄の御嶽信仰」(1)・『総合事務局報』139号
平 敷 令 治	「沖縄の御嶽信仰」(2)・『総合事務局報』140号
宮 地 檀 子	『慶来慶田城由来記』再考」・『南島地域史研究』
玉 津 博 克	「八重山の古井戸の分類と事例報告」・『南島地域史研究』

著 者 名	論 文 名 ・ 収 録 誌 名 ・ 巻 号
石 垣 繁	『真謝井戸』に関する一考察—白保村の調査報告— ・『南島地域史研究』
石 垣 博 孝	「平得村の播種儀礼」・『南島地域史研究』
狩 俣 恵 一 1985年1月	「竹富島の『巻踊り歌』について」・『南島地域史研究』
豊 川 善 一 同 3月	「与那国の女酋長・サカイイソバ」・『青い海』139号
森 田 孫 栄 同 6月	「八重山民俗芸能における呪性の一考察—蔓・採りもの ・装束について—」・『石垣市史のひろば』7号
森 田 孫 栄	「八重山芸能における頭飾りの呪性—葛（かずら）玉の 周辺—」・『琉大史学』14号
牧 野 清 同 10月	「続・八重山島嶽々名並同由来—八重山群島の御嶽に関 する調査研究中間報告・石垣島」・『琉大史学』14号
西角井 正 大	「竹富島の種子取祭の芸能に想う」・『たけとみ 東京竹 富郷友会創立60周年記念誌』
宮 良 安 彦	「竹富島種子取祭の地の狂言」・『たけとみ 東京竹富郷 友会創立60周年記念誌』
(不 明)	「竹富島の祭事」・『たけとみ 東京竹富郷友会創立60 周年記念誌』
狩 俣 恵 一 1986年3月	「根原カンドゥとその時代」・『たけとみ 東京竹富郷友 会創立60周年記念誌』
コルネリウス・ アウエハント	「〔報告〕波照間島における神観念と世界観の一考察」・ 『沖縄文化の源流を考える』

著 者 名	論 文 名 ・ 収 録 誌 名 ・ 卷 号
1986年7月 波照間 永 吉	『琉球国由来記』所載御嶽名索引・『角川日本地名大辞典 47 沖縄県』
仲 松 弥 秀	『琉球国由来記』所載御嶽地図・『角川日本地名大辞典 47 沖縄県』
仲 松 弥 秀	「グスク分布図」・『角川日本地名大辞典 47 沖縄県』
石垣繁・石垣博孝 ・上江州均 他	「沖縄県年中行事」・『角川日本地名大辞典 47 沖縄県』
同 11月 多和田 さち子	「八重山の『豊穰招来歌謡』」・『沖縄文化』67号